

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)
 (項目5, 7, 8, 9, 14, 15は評価重点項目です)

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	“「人」としてその人らしく生きるために”の理念を職員が一番好きな言葉「理念」としての想いがあり、努めている。	全員での話し合いの場を多くし、より一層理念の理解と統一したケアに向けて努力に努める。
2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	日々の申し送り、会議、カンファレンス、プラン会議等を機会にしている。ホームの理念を職員の見やすい場所に掲示して常に意識している。	毎日のミーティング時や会議時に職員全員で、読み上げより一層心がけて行きたい。
3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	ホームの玄関の見やすい所に掲示したり、地域への回覧で理解して頂いている。	今後も家族、地域へ広報誌の発行、私たちホームを理解して頂けるよう努力する。
2. 地域との支えあい			
4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	畑の前を通りかかって声をかけてくれる方に、“お茶飲みに寄って下さい!”と声かけしている。	近所づきあいからホームをより理解して頂けるよう地域へ定期的にお茶飲み広場など計画して行きたい。
5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	賽の神・夏祭り・等に参加している。ホーム全体として計画した行事についても参加して頂けるよう努めている。	今後も互いに助け合い顔見知りの関係を強く持てるよう努力する。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	複合施設の地域交流スペースで招くボランティアを見に来て頂くように、声をかけている。		複合施設の地域交流スペースの場所の提供、地域への活動の場にして行きたい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価された事に対して相談している。研修会にも参加し理解するように取り組んでいる。		職員会議で、話し合い、改善点に対し取り組み見直している。
8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	委員の方達の意見を聞いて、沿えるように改善している。		外部評価の結果を報告し第三者としての意見を頂き、取り入れ今後も見直して行きたい。
9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	電話で事情を話し、助言を受けている。		実施指導にて意見を頂いている。
10	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	研修会に参加したり、必要なら市役所へ相談しようと思っている。		研修会に参加し理解している。職員全員に対しても理解の徹底をして行きたい。
11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	徘徊について、鍵を使用しないで良いように職員で、カンファレンスしている。職場内研修を行い虐待防止に努めている。		定期的に虐待について話し合いの場を設けていく。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	入所時、面会時等を利用している。	今後の相談も随時行っていく。
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	運営推進会議に利用者も一人、参加されているが、丁寧にあいさつされている。	苦情受付後速やかに対応しマニュアルを元に解決、記録に残して行く。
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	面会時、受診時に家族に連絡している。年4回の広報誌にてお知らせしている。	金銭管理については、年2回金銭出納帳のコピーと確認書を送付し、了解を頂いている。
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	家族に面会してお話できる機会を逃さないように、意見をうかがい、職員会議に提示していくようにしている。	推進会議での貴重な意見や面会時にこれからも伺えるような場を設けていく。
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	日々の申し送り、会議、カンファレンス、プラン会議等を機会にしている。	すべての職員に徹底する為記録に残し回覧している。
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	行事計画の時など、職員数を増して、十分に対応できるようにしている。パート職員を増員しサービスの向上を図っている。	入居者の状態に合わせて今後も勤務調整に努めていく。
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	馴染みの職員を保つ為最小限に抑えるよう努力している。新職員の場合は、ダブルで組んで、熟知していただく。	家族のようなかわりを持つように職員の配置にも心がけていく。
18-2	<p>マニュアルの整備</p> <p>サービス水準確保のための各種マニュアルが整備され、職員に周知されている。また、マニュアルの見直しが適宜行われている。</p>	マニュアルについては、施設内の職員研修で、見直ししている。	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内では、新入社員研修や段階的に取り組んでいる。研修には、積極的に受けるようにしている。働きながらのスキルアップにも取り組んでいる。	職員が、それぞれの段階に応じた研修を積極的に受講して質的向上に努める。
20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	お互いの研修の場として交流し、質の向上に努めている。	これからもお互いに刺激し合える交流をして行きたい。より良いところを学んで行きたい。
21	職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	隣接施設との納涼会、忘年会等で、職員同士の親睦を深める機会を設けている。ホーム内でも会食会、娯楽を設けストレス解消に努め、悩みの聴取など、その都度行っている。	認知症介護について理解し、お互いの情報交換を密にすることにより、ストレス軽減を図れるような雰囲気作りが、必要である。
22	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	仕事の分担を明確にして個人のやる気や責任感の醸成を努める、	
安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	家族から、情報を得て、本人からは、難しい。	事前面談で、必ず本人に合って本人の思いに向き合い関係して行けるよう努めていく。
24	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	面会、受診時、その他必要な時、電話等を利用している。	今までの苦勞、経緯についてゆっくり聞き入れ段階に繋げて、事業所としてどのように対応できるか明確にし、信頼関係を気づいている。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	家族の説明の中から、本人の生活行動から判断して、プラン計画まで考えている。その後、見直しでも、職員と相談している。		地域のケアマネジャー、事業所と連携しながら必要に応じて他の機関と繋げて行く。
26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入浴を拒否された場合、家族から、来ていただいて、入浴されるまで、見守り、声かけ、していただいて、スムーズに入浴出来た事例があり、良かった。		家族様の協力を頂きながら無理はせず、第一に安心感を持てるよう取り組んでいる。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	調理、漬物等の方法を、教わることもある。畑に関しても教わりながら作っている。		一緒に喜び、学び、家族のような関係を築いて行きたい。
28	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	お茶飲みにきていただいて、本人に歯磨きを勧めていただいている。ご家族の思いから共に支えあうように支援している。		面会時には、ゆっくりと過ごして頂けるようお茶を飲みながらリラックスした環境を提供している。
29	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	“ホームと、職員が、間に入ることによって間接的により良い関係になっているのではないか！”と思われる事例もある。		面会時には、本人の思い、日頃の様子などお知らせし話しを伺うことで、より良い関係に結び、築いて行けるよう努めている。
30	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	行事計画のメニューとして、“思い出の地を訪問”を計画して、喜んでいただいている。		本人の馴染みの場所へ、尋ねたり、知人、友人、の訪問が、継続的に交流できるように努めている。
31	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	良い関わりのあるときは、喜んで見守り、物盗られ妄想のために、他の利用者を疑って、部屋へうかがうこともあり、その時は、よく説明して関係が悪くならないように、見守っている。		利用者の個性を活かし助け合い、関わり、役割を持てるように対応し、利用者同士が、仲良く過ごしていける関係を作って行きたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	たまに、ボランティアに来ていただいている事例がある。		以前利用されていたご家族が、ボランティアとして来られ、未長い交流を大事にしている。
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	普段の会話、訴えの中から把握しているが、困難な場合は、ホームに慣れて頂くことから始めている。		最後まで、本人が、納得し、受け入れてもらえるように努めたい。
34	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所時に聞いた、生活歴、サービスの経過から考えて、担当者会議の中から、プランとして計画していく。		利用者の得意なことをたくさん見つけ出し、暮らしの中に取り組みで、行きたい。
35	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	日頃の状態を見ながら、カンファレンスして、対応方法を考えていくようにしている。		一日をやりがいのある生き活きと過ごして頂けるよう努める。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	入所、面会時に家族から、普段の生活行動、生活歴を考慮して今一番必要としていることは何かを考えてプランに反映している。		本人が、一番安心して暮らせていけるには、を基本に、チームで、話し合い、たくさんの意見の中から介護計画を行っている。
37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	状態の変化、定期的6ヶ月に見直ししている。		状態の変化により職員間のカンファレンスを行い、見直しを随時行っている。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	生活記録、毎日の申し送り、職員の経験、工夫、アイデアなどを取り入れて、介護計画に活かしている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	グループホームの中で可能なことは、全て活かしている。		常に要望が、あれば、その時々により支援して行きたい。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	運営推進委員会では、民生委員、区長、ボランティアでは、文化、教育気管等、防災関係では、警察、消防と協力している。		地域の皆さんの理解、助けて頂きながら暮らして行く為に継続的な働きかけが、必要である。
41	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	今の状態では、必要がない。		今後必要性に応じて努めて行きたい。
42	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	今の状態では、必要がない。		今後必要性に応じて努めて行きたい。
43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	看護師の助言については、受診時に主治医から、指導を受けている。		本人、家族の希望のかかりつけ医であり通院時には、情報提供も行っている。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	何処に受診へ行ったらよいかなど、情報提供に努めている。		早目に診断して頂ける、地域の中での相談窓口、ネットワークを作って行きたい
45	看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	複合施設の職員である、看護師から、健康チェック、相談を受けている。		緊急時は、すぐにかかけつけ指示をして頂いている。
46	早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	ソーシャルワーカーと電話相談、薬剤師から処方箋の説明、看護師と、病院生活とホーム生活の違いなど、懇談をしている。		今後も横の連携を大事にして行きたい。
47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度や終末期の過ごし方については、家族、職員で機会を見て話し合い、家族から、受診時に主治医から、指導を受けて、職員へ連絡して頂いたり、職員同士で、カンファレンスしている。		本人、家族、医師との連携を取り安心して納得できるような終末期を考えてる。
48	重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	現在は、特養への申し込みをして頂いているが、家族から、希望があれば、ホームでみとりもしたいと言う、方針であるが、実地指導でもそのつもりはあるか！と聞かれた。		きちんとした話し合いを持つことで、チーム全体で、一つになり支援して行く必要がある。
49	住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	病院への入院の場合が多い。		他の事業所へ移られた時は、情報を提供している。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
1. その人らしい暮らしの支援			
(1) 一人ひとりの尊重			
50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	職員の研修の機会を多く持って、意識を新たにしている。	個人情報の取り扱いには、注意深く秘密保持に努める。
51	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援している</p>	入居者の自立した、気持ちを尊重して、教えて頂くという、姿勢で接し、敬っていると言う気持ちを現すように接していくことをモットーに研修している。	利用者に合わせてその方の自立心を大事に接し、支援している。
52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	プランを計画する場合、普段の生活の中から、本人の希望を汲み取って考慮するようにしている。	今まで歩んできた人生を尊重してホームの中で、その人らしい生活を目指して行きたい。
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	美容については、家族が、美容院へ付き添う方もおられるが、出張理容を利用する場合もある。希望があれば、ホームの近くであれば、お出かけの行事としての計画も可能として良いことである。プレゼントの機会には、本人好みの化粧品にすることもある。	外出時など化粧やおしゃれに気を配り普段でも本人の気持ちに寄り添い努めている。
54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	食事の準備にも、出来る方には、お願いして、片付けも皆様から、それぞれ自分の物として、片付けて頂くようにしている。	食べたいメニューを聞き、取り入れ食事の楽しさを感じられるようにしている。畑へ行き収穫した野菜を取り入れている。
55	<p>本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	酒、タバコを好まれる方はおられないが、記念の宴会では、ジュースなど、嗜んでいただくようにしている。	好む物を取り入れ楽しめるように支援している。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	パターンを把握して、気分を損ねないような、一部介助をして、気持ちよく出来るように、配慮している。		その方のちょっとしたサインを見逃さず気づきを大事にしている。
57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴は、毎日入浴を、基本として、本人の希望も考慮して、時間も好みに合わせて、自由にして頂いている。		
58	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	一応、就眠時間は設定しているが、その方によって、時間は多少異なるが、就眠前の落ち着く、行為もあり、プランに取り入れ、安らかに眠られるように図っている。		寝付けない時は、いっしょに添い寝をしている。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	生活歴、普段の楽しみなことを話し合いの中から汲み取って、季節に合った外出行事として計画して、ストレスの発散に努めている。		
60	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	入所時に御小使い銭として、家族より、お預かりするが、外出行事に買い物として、個人的に使って頂く様に持つようにしている。		ご自分の必要な買い物は、自ら購入するよう支援している。
61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	外出行事として、食材の買い物、外出、誕生日のお祝い、など、それぞれの事情に託けて、外出の機会を多く計画している。		近所の方とのふれあいを大事に近隣の散歩には、積極的に出かけている。
62	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	家族から、申し出のある、外出には、感謝しつつ、“思い出の地への訪問”を計画して、外出することもある。		季節感を常に感じていただけるよう努めて行きたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	年賀状に利用者の自筆を入れて出している。		家族からもやりとりしている。
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	訪問者には、利用者共々、好みの場所で、気楽に過ごして頂いている。		自分の家のようにお茶を囲みながらゆっくりと過ごして頂くよう工夫している。どなたでも気軽に立ち寄れる雰囲気作りを心がけたい。
(4) 安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	徘徊には、鍵をかけない工夫として、存在記録を設けて記録している。		身体拘束についての勉強会を実施している。
66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	徘徊には、鍵をかけない工夫として、存在記録を設けて記録し絶えず、存在を意識するように努めている。		自分に置き換えどんな気持ちか考え今後も取り組んで行きたい。
67	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	全ての行動に危険がないように、注意している。		職員間の連携を取り、声をかけ合い常に利用者の安全第一を考えて行きたい。
68	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	注意の必要な物品については、家族と相談して、その他、皆様に必要な物品の管理には、危険のないように、鍵のかかる保管庫などを利用している。		危険、けがが、ないように使用時行っている。
69	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	事故防止の為の研修に参加したり、防火訓練、処方薬の管理、転倒予防については、カンファレンスで研究している。		発生した場合は、すぐに事故報告書、ヒヤリハットを記入し、職員間で、カンファレンスし、対策に努めている。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	防災訓練と共に、救急処置手当での講習をうけている。		マニュアルを再度確認し、昼間時、夜間時の緊急対応について定期的に周知徹底を行うこと
71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	避難訓練として、地域の方にも協力を呼びかけ、お願いして、自警消防団の方からも訓練の時に、協力して頂いている。		
72	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	家族と面談の機会を逃さず、ことある毎にいろいろの場合を想定して対応策を話しあっている。		その方の起こりうるリスクを挙げ家族の理解もいただけている。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	看護師に相談、家族に連絡して早期対応に努めている。		隣接のデイサービス看護師より定期的見て頂きながら記録に残し受診に繋げている。
74	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	受診時、処方薬の説明、又、注意内容について、説明を聞いて処方の対応に注意している。		服薬ファイルの作成、個人ファイルに処方箋を整理し確認している。
75	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	朝の牛乳、軽体操、歩け運動、散歩、掃除、畑仕事、など計画して野菜料理の工夫に努めている。		薬には、頼らず、自然に排便できるように取り組んでいる。
76	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	食事後のうがい、歯磨き、義歯洗浄の声かけ、みまもり、看護師より口腔状態の観察など支援している。		入れ歯の管理、清潔の保持に今後も努めていきたい。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分摂取に心がけ、体重変化にも注意している。栄養については、献立を栄養士から見て頂いている。		専門的な面で、栄養面について継続的に勉強会をしていきたい。
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症マニュアルについて、職員が勉強して、看護師と相談し、予防策を徹底して行えるようにしている。		定期的な見直しをしていきたい。
79	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	衛生検査の時にもいろいろ指導を受け、それに従って注意している。		外部から月一回お願いし、実施している。結果は、後日電話、ファクスにて指導を頂いている。
(1)居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関の前で一寸懇談できるように、チェアを備え、畑へ作業に行った時も、腰掛けて休んだり、ゆっくり、眺めたり、できるように、利用している。		手作りの看板を作りホームですとアピールしている。
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	家庭のインテリアに近い工夫をしている。		
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	一人、一人の部屋があるので、それぞれ、訪問したり、ホールで懇談したりできるように、ソフトな対応に努めている。		利用者同士、おじゃましたり、されたりと交流し合えるさりげない工夫をしていきたい。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入所時、本人好みの部屋にして頂くように、家族にお願いして、その他は行事の時に、本人好みのプレゼントを飾って頂いたりしている。		
84	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	本人の希望、好み、家族等の訪問時など、配慮している。		朝の掃除の時や昼食後と定期的に換気に努めている。トイレには、換気扇、消臭剤で、臭いが、こもらないように努めている。
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	部屋、廊下等、手すり等、利用して頂いたり、トイレも一人用、車椅子用など、好みによって、利用できるようにして頂いている。		生活していく中から掃除、洗濯干しと家事を中心に役割として自立した生活を送れるよう努めている。
86	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	部屋の位置を工夫して選んでいる。		できることを見極め混乱、失敗しないように声かけ工夫に努めている。
87	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	簡単に外気を感じたい方には、ベランダが最適で、お茶のみにも利用している。		外で、ゆっくりと活動できるような空間作りに努めていきたい。

. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の	
		利用者の2/3くらいの	
		利用者の1/3くらいの	
		ほとんど掴んでいない	
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある	
		数日に1回程度ある	
		たまにある	
		ほとんどない	
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と	
		家族の2/3くらいと	
		家族の1/3くらいと	
		ほとんどできていない	

項 目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように	
		数日に1回程度	
		たまに	
		ほとんどない	
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている	
		少しずつ増えている	
		あまり増えていない	
		全くいない	
98	職員は、生き生きと働いている	ほぼ全ての職員が	
		職員の2/3くらいが	
		職員の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が	
		家族等の2/3くらいが	
		家族等の1/3くらいが	
		ほとんどできていない	

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)